

(特非) 日本ファイバーリサイクル推進協会

衣類・繊維 3R 活性化のための “リクチュール” 活動の実践

イベントの 延べ参加者数	10,500 人
イベント参加者 の満足度	70%
活動の全体目標 に対する達成度	70%



使用済み繊維の再生加工技術を学ぶ

◆成果と工夫したポイント

●成果

ファッション産業界・流通・市場に、“リクチュール”という概念でビジネスを創発する機運が高まって、古着を素材とする“リクチュール・ファッション”で制作活動を行う若手クリエイターも輩出した。

●工夫

“リクチュール”という新概念の社会への浸透を図るため、産業・企業等の理解が得られることを心がけた。

課 題

衣料・繊維製品ゴミの再生利用を促進することによって、循環型社会体制を形成することを目指す。

目 標

「回収した廃棄繊維製品の再利用先を創り出す」という、(故) 繊維流通プラットフォームづくり活動を実践することによって、衣料・繊維製品の 3R を活発化させ、衣料分野での循環型社会体制を作り上げることを目指す。

活動内容

衣料・繊維製品ゴミの再生利用を促進するために、「回収した廃棄繊維製品を解体して、新品のファッション衣料を制作するための材料として整理加工し、そうした再生素材を駆使してファッション製品を制作する」「リクチュール」という新しい概念を、社会・産業に向けて普及させるための“啓発教育”“技術開発”“産業インフラ整備”“実践支援”等の活動を、多面的に展開した。



“リクチュール塾展”を開催

達成できなかったこと

一般家庭・地域社会との連携を強化して、「古着活用“地産地消”活動の高まり」を創出したい。

今後の展望

“リクチュール”という新概念の社会への浸透を、全国レベルで図っていきたい。